

第24回小出記念日本語教育研究会

日時：2015年7月4日(土) 11:30~16:30

会場：国際基督教大学

参加費：会員 無料 ・ 非会員 2,000円 (当日入会可)
事前申込は不要・会場内に「子ども用フリースペース」あり

◆◆◆ 講演 ◆◆◆ 12:45~14:50 本館116

コミュニケーションスキルが高まる授業を作る工夫 —理論と実践をつないで—

【講師】 清水崇文氏 (上智大学 言語教育研究センター/大学院外国語学研究科 教授)

コミュニケーションと密接にかかわる語用論分野の教育内容について、何をどう行うべきか疑問をお持ちになったことはありませんか。2015年度は、学習者の語用論的知識・能力の習得・発達を視座に据えた教育の再検討を目的に、「中間言語語用論」の観点から、清水崇文氏にご講演いただきます。ご講演では、学習者の語用論的能力の発達の道筋を含め、中間言語語用論に関する理論的な研究成果を、いかに「コミュニケーションスキルを高めるための授業」として教育に応用していくかについてお話しいただきます。理論と現場を結ぶご講演は、参加者の方々にとっても、日々の授業実践の見直しにつながるものとなると思われます。みなさま、ぜひご参加ください。

◆◆◆ ポスター発表 ◆◆◆ 15:00~16:30

【第1会場】本館151	【第2会場】本館152	【第3会場】本館155
口頭発表への効果的なフィードバックに関する研究 —留学生の口頭発表に対する日本人学生の評価データから— 阿部美恵子 (関西学院大学)	キルギスの大学における日本語会話指導の実態と教師の意識 —非母語話者教師の教室活動に焦点を当てて— アサノワ・グリザル (東北大学 大学院生)	日本語クラスにおけるTAのアクション・リサーチ 三浦綾乃 (立教大学 大学院生)
ビジネス日本語クラスにおけるゲストセッションの成果と課題 —複眼的評価を目指して— 栗田奈美 (立教大学)	南米系外国人学校における小学校低学年日本語でのアプローチ —日本社会で生きる力をつけるための授業実践報告— 島田友絵 (学校法人ムンドデアレグリア学校)	大学副専攻課程履修生の考える「いい日本語教師像」 —履修初年度の学生を対象に— 鴈野恵 (筑紫女学園大学)
日本語教師が行う初級日本語作文の内容評価と作文の使用語彙の関係 —語彙解析ソフト「KH Coder」を使用して— 金井令子 (獨協大学)	大学の日本語教育系授業が母語話者の意識に与える影響 嶋原耕一 (東京外国語大学 大学院生)	特殊拍の知覚能力習得のための指導法の実践 古江佳奈子 (獨協大学)
	中国人新人・経験日本語教師の「いい日本語教師」に関するビリーフ —PAC分析の結果に見られる共通点と相違点— 坪根由香里 (大阪観光大学) 小澤伊久美 (国際基督教大学) 嶽肩志江 (横浜国立大学) 八田直美 (国際交流基金)	

詳しいプログラムはウェブサイトをご参照ください <http://koidekinen.org/>
小出記念日本語教育研究会事務局 〒181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2 国際基督教大学日本語教育課程 小澤研究室気付

主催：小出記念日本語教育研究会 / 後援：国際基督教大学 日本語教育研究センター